

# Japanese General Social Surveys

JGSS (Japanese General Social Surveys) は、日本人の日常行動と意識を継続的に調査し、その調査データをすみやかに公開することで社会科学の発展に広く貢献しようとする調査研究プロジェクトです。アメリカのシカゴ大学 NORC が 1972 年から継続している総合的社会調査 GSS (General Social Survey) の理念を、日本の社会調査で実現しようとしたものです。多くの研究者に当プロジェクトを知っていただき、調査データを活用して下さることを願っています。

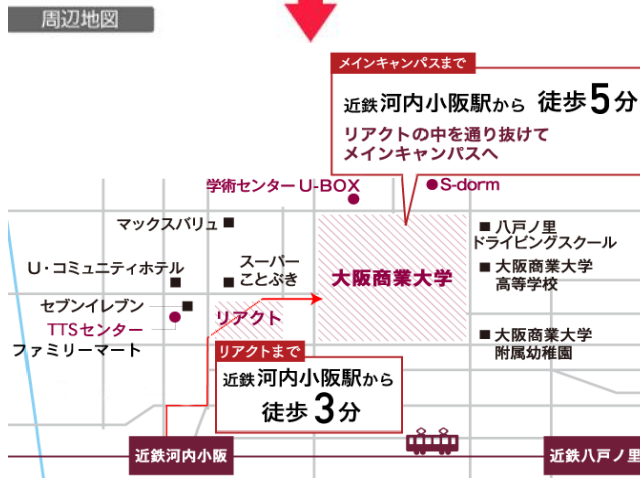
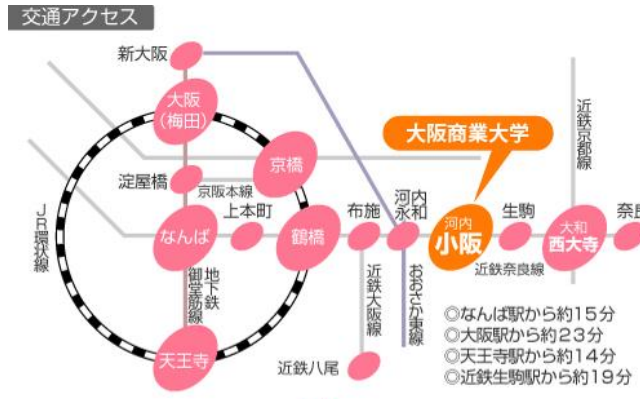
JGSS プロジェクトは、文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点の認定を受けた大阪商業大学 JGSS 研究センターが、進めています。

# East Asian Social Surveys

EASS (East Asian Social Surveys) は、東アジアに特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、国際比較分析を行うプロジェクトです。日本 (JGSS)・韓国 (KGSS)・台湾 (TSCS)・中国 (CGSS) が参加しています。EASS は、これまで「家族」(2006、2016)、「文化」(2008、2018)、「健康」(2010)、「社会的ネットワーク」(2012)、「仕事と生活」(2014/2015) のテーマで行っています。

## JGSS 運営委員・研究員

- ◆ 運営委員会委員長  
谷岡 一郎 大阪商業大学 学長・教授
- ◆ センター長  
岩井 紀子 大阪商業大学 総合経営学部 教授
- ◆ 運営委員  
  - 穴戸 邦章 大阪商業大学公共学部 教授
  - 佐々木 尚之 大阪商業大学公共学部 准教授
  - 仁田 道夫 東京大学 名誉教授
  - 岩井 八郎 京都大学大学院教育学研究科 教授
  - 岡太 彬訓 立教大学 名誉教授
  - 平尾 桂子 上智大学大学院地球環境学研究科 教授
  - 池田 謙一 同志社大学社会学部 教授
  - 中谷 友樹 東北大学大学院環境科学学系 教授
- ◆ 外部評価委員  
  - 西澤 由隆 同志社大学法学部 教授
  - 大竹 文雄 大阪大学大学院経済学研究科 教授
  - 山口 一男 シカゴ大学ラルフ・ルイス記念特別社会学 教授
- ◆ 主任研究員  
孟 哲男、吉野 智美
- ◆ ポスト・ドクトラル研究員  
竹本 圭佑、金 政芸、滕 媛媛、林 萍萍



参加には、事前の申込が必要です。

## お問い合わせ: JGSS 事務局

〒577-8505  
 東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学内  
 tel: 06-6785-6013 fax: 06-6785-6011  
 E-mail: jgssd1801@daishodai.ac.jp  
 http://jgss.daishodai.ac.jp



文部科学大臣認定  
 日本版総合的社会調査共同研究拠点  
 大阪商業大学 JGSS 研究センター

# JGSS 国際シンポジウム 2020

- 【Part I】 「日本学術振興会『人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業』データ共有基盤の構築・強化に向けて」のシンポジウム
- 【Part II】 JGSS シンポジウム
- 【Part III】 EASS Symposium



日時: 2020年1月11日(土) 13:00-19:30  
 2020年1月12日(日) 10:00-17:45

会場: 大阪商業大学  
 ユニバーシティホール「蒼天」

主催: 大阪商業大学 JGSS 研究センター

## ご挨拶

JGSS 研究センター運営委員会委員長 谷岡 一郎  
大阪商業大学学長・教授

JGSS プロジェクトは、発足から 23 年目を迎えました。本シンポジウムの第一部では、「日本学術振興会『人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業』データ共有基盤の構築・強化に向けて」の報告・パネルディスカッションを行います。第二部では JGSS の研究成果を、第三部では East Asian Social Surveys (EASS) の成果を報告いたします。EASS 報告の基調講演としては、World Values Survey Association 代表で Eurasia Barometer のディレクターでもある HAERPFE, Christian W. 氏にご報告いただきます。参加者の皆様によって活発な議論が交わされ、実りあるシンポジウムとなることを期待いたします。

## プログラム

### 第 1 日目 1 月 11 日 (土)

13:00 開会の辞 大阪商業大学学長・教授 谷岡 一郎  
来賓挨拶 文部科学省研究振興局学術機器課 萩原 雅行

13:10 JGSS の 23 年と新たな取り組み  
谷岡 一郎・岩井 紀子

13:15 【Part I】「日本学術振興会『人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業』データ共有基盤の構築・強化に向けて」のシンポジウム (日本語) [司会: 佐々木 尚之]

◆ 廣松 毅 日本学術振興会 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター

「日本学術振興会『人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業』について」

◆ 朝岡 誠 国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター  
「社会科学におけるオープンサイエンスのためのインフラストラクチャー」

◆ 三輪 哲 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター

「オープンサイエンス推進の時代における社会調査・データアーカイブ研究センターの役割」

◆ 石井 加代子 慶應義塾大学経済研究所パネルデータ設計・解析センター (慶應義塾大学経済学部)

「パネルデータ設計・解析センターの機能と発展」

◆ 田中 雅行 一橋大学経済研究所  
「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業一橋大学における取組状況」

◆ 山田 太造 東京大学史料編纂所  
「日本史史料の長期利用に向けたシステム環境整備」

◆ 穴戸 邦章 大阪商業大学 JGSS 研究センター  
「データ整備とダウンロードシステムの構築」

◆ 青柳 みどり 国立環境研究所社会環境システム研究センター  
「時系列調査について」

◆ 中谷 友樹 東北大学大学院環境科学研究科  
「JGSS と地理情報の連結: 地理的マルチレベルデータ解析の広がり」

### ◆ 16:45 <パネルディスカッション>

◆ モデレーター  
谷岡 一郎 大阪商業大学学長・教授

◆ パネリスト  
◆ 前田 幸男 日本学術振興会人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター

◆ 船守 美穂 国立情報学研究所情報社会相関研究系  
◆ 三輪 哲 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター

◆ 山本 勲 慶應義塾大学経済研究所パネルデータ設計・解析センター

◆ 田中 雅行 一橋大学経済学研究所  
◆ 大向 一輝 東京大学大学院人文社会系研究科  
◆ 岩井 紀子 大阪商業大学 JGSS 研究センター

18:00 懇親会 会場: ユニバーシティホール「蒼天」

### 第 2 日目 1 月 12 日 (日)

10:00 【Part II】 JGSS シンポジウム (日本語)

◆ 孟 哲男 大阪商業大学 JGSS 研究センター  
「JGSS の回収率に関する研究: 接触成功率・協力獲得率とインターフォンの種類」

◆ 穴戸 邦章 大阪商業大学 JGSS 研究センター  
「JGSS 累積データから見る日本人の意識と行動」

<JGSS 公募論文 2019 優秀論文表彰式および報告>

◆ 中 澤 早稲田大学大学院文学研究科  
「同性愛に対する意識: JGSS を用いた規定要因分析と要因分解」

◆ 釜野 さおり 国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部  
「日本における同性間の婚姻に対する意識: JGSS-2018 を用いた分析」

◆ 阿部 彩 首都大学東京大学院人文科学研究科  
「JGSS からみる貧困と家族からの孤立」

12:20 昼食

13:30 【Part III】 EASS Symposium (English)  
<Keynote Addresses>

◆ HAERPFE, Christian W. (President of World Values Survey Association/Director of Eurasia Barometer) & KIZILOVA, Kseniya (Head of the Secretariat of World Values Survey Association / Vice-Director of Eurasia Barometer)  
「The World Values Survey: Organization, History, and Findings in East Asia and Beyond (1981-2020)」

14:45 <Overview of EASS>

◆ IWAI, Noriko (JGSS Research Center, Osaka University of Commerce)  
「Overview and Influence of JGSS」

◆ KIM, Jibum (Survey Research Center, Sungkyunkwan University)  
◆ KIM, Seokho (Department of Sociology, Seoul National University)  
「Overview and Influence of KGSS」

◆ WANG, Weidong (School of Sociology and Population Studies, Renmin University of China)  
「Overview and Influence of CGSS」

◆ WU, Chyi-In (Institute of Sociology, Academia Sinica)  
「Overview and Influence of TSCS」

<Examination of Trend Over the Decade with EASS Data>

◆ SASAKI, Takayuki (Faculty of Public Affairs, Osaka University of Commerce)  
「Results from EASS 2006 and EASS 2016 Family Module」

◆ TAKEMOTO, Keisuke (JGSS Research Center, Osaka University of Commerce)  
「Results from EASS 2008 and EASS 2018」

◆ 16:30 <EASS Panel Discussion on the Health Module: Toward the 2020 Health Module>

◆ YOSHINO, Satomi (JGSS Research Center, Osaka University of Commerce)  
「Overview of the EASS 2010 Health Module and Health Statistics」

◆ Panelist  
◆ SONG, Yueping (School of Sociology and Population Studies, Renmin University of China)

◆ WENG, Hui-Ching (Institute of Gerontology, National Cheng-Kung University)

◆ Jae-Mahn Shim (Department of Sociology, Korea University)

◆ IWAI, Noriko (JGSS Research Center, Osaka University of Commerce)

17:45 閉会

本シンポジウムは、文部科学省「特色ある共同研究拠点推進事業機能強化支援」(平成 28 年~30 年度)、JSPS 科研費 JP17H01007 および JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業 JPJS00218077184 の成果報告のひとつです。

内容の詳細については JGSS ホームページをご覧ください。  
(<http://jgss.daishodai.ac.jp>)